



初夏の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回より、紙面を刷新し年2回の発行とさせていただきます。皆さまへは市政の状況と活動状況をわかりやすくお伝えしたいと思っておりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

## 1. 3月・6月定例議会で質問しています！

定例議会の一般（総括）質問は、次の6件について行いました。以下に質問の要点を示します。詳細は YouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1)～(4) 3月、(5)(6) 6月議会で質問しました。

### (1) 市長の施政方針について

①市長は本市の将来像をどのように描いているのか：市長の施政方針が2月議会初日にありましたが、残念ながら**本市の目指す姿**が読み取れませんでした。

→人口減少が加速する中、重要なのは**本市をどのようなまちにしてい**くかを示し導いていくことです。

②市長が力を入れる「子育て支援」「女性活躍」「デジタル化推進」施策の本市独自の特徴は何か：市長肝煎りの施策3つについて、特徴を問いました。

→「女性活躍」の施策は、アドバイザー派遣とセミナー開催のみで、**もっと深く考えた施策**を求めました。

③まちの活力につながる**具体的な事業**は：本市には**まちの活力となる事業が必要**ですが、施政方針では余り触られていませんでした。

→企業誘致や雇用創出等に関し、市長は率先して取り組むとの答弁を得ました。

### (2) コロナ禍での中小事業者を守る市独自の支援策を

①新型コロナによる倒産や廃業件数への影響について：長引くコロナ禍での影響について尋ねました。幸いに倒産や廃業件数の増加は見られませんが、予断を許さない状況です。

②まん延防止等重点措置適用に伴う、**中小事業者を守る市独自の支援策を**：飲食店の休業や外出自粛要請により影響がでる業種について、**市独自の支援策**を要望しました。

→国の事業復活支援金申請で5万円が上乘せされます。



### (3) 市長の国際交流に関する考えについて

①自治体国際化協会シドニー事務所に派遣する職員に、どのような使命を託されているのか：今年4月からシドニーに派遣する本市職員の**使命を明確**にするように、依頼しました。

②姉妹都市パーマストン・ノース(PN)市との交流促進について：前市政で締結した姉妹都市提携を市長はどう捉え、**どう取り組んで行くのか**を問いました。

→民間交流から発展したPN市との交流を、コロナ沈静後に再び復活してもらうことを依頼しました。

#### (4) ペアシティ西館の活用の課題について

①駐輪スペースの確保について：歩道整備後、駐輪スペースが狭くなり、自転車が駐輪し難くなったため、**駐輪スペースを広げられないか**を問いました。



→建物西側入口付近に設けるよう管理組合と協議検討するとの答弁でした。

②1階空床部分の活用をどう進めるのか：1階空床部分の活用についての検討状況を問いました。

→テナント誘致をしてきたが手を上げる業者がない状況であったため、**市内事業者と北側空床部分を事務所として貸付ける**方向で協議を進めているとの答弁でした。(八天堂の事務所が入ります。)

#### (5) 旧ゆめきゅりあセンターに歴史文化博物館の設置を

①小早川隆景公史料約140点について、市長の考えを問う：「**隆景史料約140点保管先探す**」の新聞報道が3/18にありましたが、地元三原市としてどう対応していくのかを市長に問いました。隆景公は、地元でもっと評価されるべきです。**史料は地元で保管活用すべきです。**

→史料購入が決定しました。

②現在の歴史民俗資料館を市長はどう評価しているのか：市民もですが、郷土の歴史に関心がなさすぎると感じています。その要因のひとつは学ぶ施設が充実しておらず、また学校でも教えないことにあります。現在の資料館は、9万人都市にある資料館として恥ずかしい限りです。

→移転を検討するとの答弁を得ました。

③駅北の拠点施設として、旧ゆめきゅりあセンターを歴史文化博物館へ：駅北は歴史文化ゾーンとして来街者が散策し、回遊できるまちに整備するとしていますが、単発計画ばかりで、中・長期的な視点からの計画が描けていません。**旧ゆめきゅりあセンターを隆景**

公史料も常設展示する歴史文化博物館に改修して、お祭り会館機能と合わせて、駅北への人の流れを作る提案をしています。

→移転候補先として検討中との答弁でした。

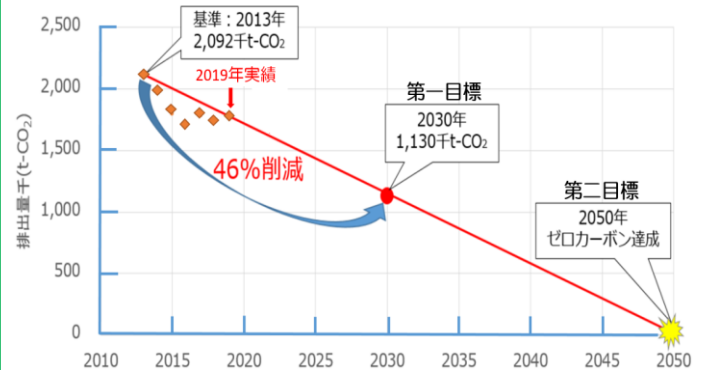
#### (6) ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について

①本年度の脱炭素社会推進事業に関する施策の効果について：本年度予算を655万円確保していますが、事業内容と宣言がマッチングしておらず、**無駄な労力と税金を使いそう**ので指摘しました。

②市長は、どのような構想を持って宣言したのかを問う：ゼロカーボンシティとは、2050年までにCO2排出量を実質ゼロにする取組を行う自治体のことです。3/23に市長が目指すことを宣言していますが、年間約175万t-CO2排出量(2019年)を**どうやって実質ゼロにする**考えかを問いました。

→残念ながら**構想は無く、ただ宣言をした**だけで、中身が考えられていませんでした。形だけの宣言に不安を感じています。

三原市の現状及び削減目標



## 2. 議会トピックス

### ◆ 三原市令和4年度予算編成

一般会計予算484億円で、「子育て支援」「デジタル化推進」に力点を置いた予算編成となっています。その他は、全般的に少しずつ縮小した予算のように感じます。人口減少が進む中、結果が伴わなくてははいけません。子育て

て世代が増加するのか、デジタル化による効果がどの程度出たのか等を確認していきます。

#### ◆ 水道事業の広域化に関する検討状況

水道事業の広域連携（広島県水道企業団）への参画検討が進められています。（広島市、福山市、尾道市、呉市等是不参加を表明）、立派な水源地を持つ本市にとって、将来に渡り本当にメリットと成り得るかがポイントです。

① 将来に渡り、民営化されることは無いのか →市回答：民営化の考えはない

② 広域連携となり、地元密着のサービス低下が起こらないか →市回答：災害に強い水道施設になり、連携体制が強化される

③ 水道料金はどのようになりそうか

→市回答：水道料金の上昇幅が抑制される

\* 広域化のメリットは、国からの交付金と一般会計出資金により 70 億円の支援を受けられ、10 年間は料金が維持される計画です。（広域での料金統一は考えられていません。）

市長は、6 月 20 日に企業団に参画を表明しましたが、9 月議会での最終採決まで調査をしていきます。

#### ◆ 下水道事業の値上げ審議

本市の下水道事業は、令和 5 年度に供用開始 30 年を迎え、国からの交付金約 5.1 億円/年の支援が終了するため、令和 5 年度から 30%増の料金改定の提案が出されました。

市内の下水道利用者は 50%弱で、利用者負担となる提案です。平均的汚水量は 20m<sup>3</sup>/月で 2,500→3,230 円/月に値上がりする計算になります。一律値上げは、地域によって大幅な負担増になるなど課題も有り、値上げ幅を抑える策はないのか考えていきます。（浄化槽に比べ、年間の負担額は若干低くなります。）

#### ◆ 普通財産減額処分条例制定について

遊休化した公共施設を放置するのではなく、地域振興や雇用促進のために 民間活用を促す条例を制定すべきだと繰り返し提案して来ましたが、この度、条件を満たせば入札予定価

格の 1/10 で売却できる条例が制定されました（4/1 付）。廃校等の民間活用がし易くなり、全国公募で募集するように行政に要望しています。

私の政策提案の一つが形になりました。

### 3. 経済建設委員会の活動

◇経済建設委員会委員長として活動しています。

本委員会では、「三原市の農業振興」をテーマに本市の農業問題を調査研究して来ました。耕作放棄地の増加や後継者不足等の問題に対し、U ターン・I ターン者が新規就農しやすい環境作りに絞り込み、政策提案をまとめ中です。秋までにまとめ、議会に提案予定です。



### 4. 活動報告 & お知らせ

#### (1) 県道 344 号（大草三原線）長谷地区の拡幅について

県道 344 号（長谷地区）は狭隘で事故が多発しているため、拡幅バイパス工事の要請を県へ出しています。令和 8 年からの 5 年計画に挙げてもらえる様、繰り返し要望していきます。



#### (2) 田野浦団地法面補修工事について

平成 30 年の豪雨災害時、団地の南側法面水抜き穴より土砂流出が確認され、調査をしていましたが、空洞が各所に確認されたため、今年度補強工事の実施が決定しました。



### (3) 和田治山堰堤の整備について

昨年夏の豪雨により、和田の筆影山登山口横の治山堰堤が再び土砂で満杯となり、県へ土砂除去を依頼し撤去しました。上流部への治山堰堤設置も県へ要望しています。



### (4) サギセミナーセンター活用ワークショップ開催

4月2・3日に、全国から起業家やまちおこしに携わる約10人の方にお越しいただき、1泊して、この施設の活用方法についてのワークショップを開催しました。



色々な意見がでましたが、島の「小さな活動拠点」として、活用幅を広げる取組をしています。



## 5. あとがき

### ◆三原の歴史文化をもっと市民は知るべき！

一般質問で何度も行政に投げ掛けていますが、本市の歴史文化をもっと大切し、活用すべきです。まずは、市民が学べる場を充実させることが郷土愛の醸成に必要です。実現に向け活動をしています。

### ◆本当に成果がでる中心市街地活性化施策を！

中心部の空洞化に対し、これまで通りのやり方では期待できません。駅前にIT企業や起業家を呼び込むために、空き店舗の無償貸付や施設提供も考え、都心への誘致営業活動をもっと積極的に行うべきと思います。

### ◆三原の人口対策にもっと特色が必要！

三原の人口がとうとう9万人を切りました。人口減少が加速しています。人口減少の要因は多岐に渡りますが、ターゲットを絞り込んだ特色ある施策が必要です。当り障りのない施策ではダメです。三原独自の施策を行政に求めています。

**みなさんのご意見をお聞かせください！**



- ・ 市政について
  - ・ 普段の生活の中で気付いたことや問題点など
  - ・ 将来のためにこうすべきだ 等々
- お気軽にご連絡ください！**



#### <連絡先>

〒723-0017

三原市港町三丁目 16 番 13 号

携帯：090-7137-0440

FAX：0848-64-8911

e-mail：h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp

<https://www.tanakahiroki.info/>

#### 田中裕規 プロフィール

- ・ 東京農工大学工学部大学院卒
- ・ 元帝人㈱社員
- ・ 三原市防犯連合会会長
- ・ 保護司

田中ひろき後援会

<発行責任者> 武郷康則